

フェロモントラップに入るまぎらわしい虫

フェロモントラップ調査において、対象害虫以外に特異的に誘引される昆虫が存在します。中には、対象害虫と大きさが同じであったり、発生消長が似ていたりするため、調査において間違っただけでカウントしてしまう場合があります。以下に紹介するものは特に間違いやすいものですので、ご注意ください。

オオタバコガ

オオタバコガのフェロモントラップには、フタオビキョトウ、ウラギンキョトウなどが特異的に誘引されます。このうち、特にフタオビキョトウは大きさや色が似ており、また越冬世代成虫の出現時期がオオタバコガと重なり大変紛らわしいので注意してください。



図1 オオタバコガのフェロモントラップに入ったオオタバコガとフタオビキョトウ

(赤はオオタバコガ 緑はフタオビキョトウ)



図2 オオタバコガ (左) とフタオビキョトウ (右)

コナガ

コナガのフェロモントラップには、ネギコガ、ナガイモコガ類 (ナガイモコガ、ヤマノイモコガなど) などが特異的に誘引されます。大きさや色が似ており、またコナガ同様、期間を通して誘殺され、コナガと紛らわしいので注意してください。



図1 コナガのフェロモントラップに入ったコナガとネギコガ、ナガイモコガ類

(赤はコナガ、橙はネギコガ、緑はナガイモコガ類)



図2 コナガ (左)、ネギコガ (中)、ナガイモコガ類 (右)